

保育計画成果報告書

法人名等	学校法人岩本学園
施設名	認定みどりこども園
報告者（役職）	岩本眞砂枝（園長・理事長）
住所・連絡先	栃木県宇都宮市西原町3335-2
	☎ 028-612-5625
	E-mail info@midori-kodomoen.com

○タイトル（保育計画）

全身を使ってダイナミックに遊びを広げよう

○主な助成備品

木製アスレチック

1. 保育計画策定の目的

2015年4月、旧みどり幼稚園から認定みどりこども園として現在地に新たなスタートを切った「認定みどりこども園」は、開園時からの構想としてテラスデッキにツリーハウスを作りたいと考えていました。しかし当初は新しく移転して認定こども園を開業する対応に時間が掛かった上に財政的な確信も無く、実現の果たせないままに至っていました。

これを機会にツリーハウスの実現に着手し、プールテラスデッキのダイナミックな活動が出来る環境を整えて、子どもたちの園生活をより豊かに広げる可能性が期待出来ると考えて、この度の助成を申請いたしました。



2. 具体的な実施内容

宇都宮市を南北に流れる田川の西側に広がる静かな住宅地の外れに位置する当園は、幼稚園時代からのコンセプトである感性と表現、心身の健康を軸に63年に渡る情操教育の歩みを受け継ぎつつ、新しい認定こども園として0歳から就学までの子どもたちにトータルなケアと教育の機会を提供しています。しかし栃木県では近年児童の体力の低下が指摘されています。そのような状況の改善を図る為に当園では、子どもたちの身体機能を0歳から就学までの3～6年間で十分に発達出来るよう、家庭では難しい能動的な活動の時間を十分にとる事と外遊びでより全身を使う楽しさにチャレンジする事に力を入れたいと考

えました。そしてこの度、テラスデッキの一角にある芝生のコーナーに移植した4メートル程の銀杏の木を取り囲む四角錐の形の木製アスレチック遊具を配置する事となりました。



夏期の水遊びの展開がみられる可能性に限らず、それ以外にもテラスを使って屋外でおやつを食べたり、高いところに登って遊んだりする変化の楽しめるスペースとして午後の保育活動のバリエーションを広げられるのではないかと期待をもって各学年の保育教諭の保育計画に新たな環境設定として組み入れて行きました。



3. その成果と評価

このようにしてプールテラスデッキの新しい環境構成がより充実したことは、新入園児の子どもたちも落ち着いてきた6月には外遊びも活発になり、プールや水遊びの度に関心をもって様々な遊びにチャレンジしようとする子どもたちの様子が見られるようになりました。秋になり木の葉が色付く頃、銀杏の黄色と青い空のコントラストが鮮やかな日には、「空に手が届きそう！」と口々に言いながら一番高い所に登って競い合い、手を大きく伸ばす子どもたちの姿が印象的でした。銀杏と遊具のある静かなテラスや緑の芝生の側で自由に伸び伸び過ごすことには、砂地の園庭とは異なる感覚があります。穏やかな時間と四季を感じられる自然に近い空間の優しさは、特に保育時間の長い子ども達にとっては大切な午後の憩いのひとときになっているように感じます。子どもたちの遊びのシーンが感覚的にも身体的にも広がりを見せてきたのは素晴らしい成果だと思います。



4. 今後の課題と展望

この度設置した木製アスレチックは、現在の高さの銀杏を囲む櫓のような形になっていますが、銀杏はこれからも成長し高く大きくなっていきます。私たちは銀杏の木の成長と共に、現在ある遊具もこれをベースに本物のツリーハウスへと進化させて行きたいと考えています。最初の夢を叶えられるよう「みどりこども園」の保育教育を更に充実させて心も身体も逞しい、そして夢も大きく抱ける子どもたちを育てて行きたいと思えます。

大きな夢にむかっただの第一歩を踏み出す機会を与えて下さったこの助成に、心より感謝を申し上げます。安心安全に配慮し、この遊具を楽しむ子どもたちの未来を見守ります。

以上